



滝野東小学校だより

令和2年4月9日 文責 神田

お子様の御入学・御進級おめでとうございます

4月8日(水)、校庭の桜が美しく咲き、優しい春風がそよぐ中、1年生76名の子どもたちが元気に滝野東小学校の門をくぐりました。入学式は、コロナウイルス感染症拡大に伴い、卒業式同様規模を縮減し、1年生と保護者、教職員のみでの参列となりましたが、1年生の子どもたちの元気な返事が体育館に響き渡りました。わたしの式辞の中で尋ねたことに対しても、「ありがとうございます」「はい」と一つ一つ丁寧に答えてくれました。なんとかわいらしくかしこい子どもたちでしょう。

また、児童を代表して、6年生の藤原秀成さんが、1年生と保護者の方に向けて、歓迎の言葉を丁寧に伝えてくれました。(下記に紹介します)



1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ぼくは、皆さんの入学をととても楽しみにしていました。滝野東小学校は、全校生がしゃべらず、黙々とそうじをし、心も身体もピカピカにすることができる学校です。そして、他の学年のお兄さんやお姉さんたちと遊ぶことができるふれあい班活動があります。運動会や音楽会などの楽しい行事もたくさんあります。給食の時間もとても楽しい時間のひとつです。また、学校には、図書室やコンピューター室もあり、たくさん勉強もできます。もし、分からないことがあったら、ぼくたちや先生に聞いてください。

保護者の皆様、1年生のことは、ぼくたちに任せて下さい。登校では、交通ルールに気をつけて、1年生のペースに合わせて歩きます。また、学校で楽しく過ごせるように、ぼくたちががんばりますので、安心してください。最後になりますが、1年生の皆さん、今日から滝野東小学校の仲間です。みんなで一緒に学校生活を楽しみましょう。

在校生のいない入学式でしたが、その思いをしっかりと伝えてくれたことが何より嬉しいことでした。さて、今年度は、新しい1年生を迎えて、全校児童が506名となりました。私たち教職員49名は、力を合わせて、子どもたちが「自らの成長を実感できる学校」となるよう努めて参ります。新年度にあたり、滝野東小学校の教育目標を次のように決めました。

こころ豊かに たくましく生きる「滝っ子」
—主体的に学び 自らの成長を実感できる児童の育成—



子ども自らが成長を実感できるようになるためには、自分から学ぼうとする主体的な学びが不可欠です。始業式では、私から子どもに次のようなお話をしました。

人には、必ず「やる気スイッチ」が2つあります。一つは胸の前に、もう一つは背中にあるのです。胸の前にある「やる気スイッチ」は、皆さんがいつでも何かをやるうと思ったらすぐに自分で入れることができます。このスイッチを自分で入れることができれば、目標や願いは必ずかないます。それが自分の成長につながるのです。一方で、背中にある「やる気スイッチ」は、自分で入れることができません。人に入れてもらう必要があります。皆さんは、困ったときに人に助けってもらったときやくじけそうになったときに人から応援してもらったことがありますね。それが背中のスイッチを入れてもらうことなのです。この背中のスイッチを人に入れてもらおうと思えば、まず、自分から友だちの背中スイッチを入れてあげるといいのです。新しい学年が始まりました。今日から自分の胸の前にあるスイッチと友だちの背中にあるスイッチをたくさん入れることができる1年にしましょう。

今年もまた、子どもの成長ぶりが楽しみです。今後とも本校の教育活動へのご支援をお願い致します。